

教科	公民	科目	公共	単位数	2	履修年次	1年	2年	3年
						履修形態	必修		

教科書	高等学校 新公共 (第一学習社)	副教材等	なし
-----	---------------------	------	----

1 学習の目標

- (1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- (3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

2 身に付けてほしい力

<input type="radio"/>	学びの価値を重んじる思考力		あきらめずに最後までやり通す忍耐力
<input type="radio"/>	規律やルールを守り、目標を追求する行動力	<input type="radio"/>	多様な価値を認め、他者と助け合う友愛力

3 学習評価(評価規準と評価方法)

評価の観点	知識および技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解している。 また、適宜必要となる情報を諸資料から適切かつ効果的に調べ、まとめることができる。	現代社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりすることができる。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題が何かを探り、それらを主体的に解決しようとしている。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査、小テスト 作業学習等の取り組み状況 その他課題 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査、小テスト 作業学習等の取り組み状況 その他課題 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 作業学習等の取り組み状況 ノート、課題等の提出物 授業態度等

4 先生からのアドバイス(予習・復習の方法、授業の受け方など)

- 授業を大切にしてください。欠席が重なったり作業を怠れば、授業についていけなくなってしまいます。教科書をしっかり読み、現代社会のしくみや課題を理解し、重要項目を整理・把握することに努めてください。
- ペアワーク、グループワークも学習活動です。積極的に自分の考えを述べ、相手の考えを尊重しましょう。
- 公共の学習は、皆さんの生活と切り離されたものではありません。
日常的に新聞やニュースに触れることで、社会の動きに目を向けることができます。
- 定期考査は、教科書の記述を中心とする授業内容から出題されます。ただし、時事問題もあります。用語だけを暗記するのではなく、思考力・判断力・表現力を問う設問も出題されます。
- 提出を指示された課題等は必ず提出してください。提出しなければ、評価の三観点すべてにおいて不利に働きます。

年間授業計画

	月	単元	学習内容・目標(到達点)	評価資料・方法	評価の観点		
					①	②	③
前期	4	第1編 1 公共的な空間をつくる私たち 2 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 3 公共的な空間における基本的原理	<ul style="list-style-type: none"> 公共的な空間の基礎に人間の尊厳と平等、個人の尊重があることを学ぶ。 古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、公共的な空間における基本的原理を理解する。 人権保障のあゆみや世界の政治体制、日本国憲法などを通して、公共的な空間における基本的原理が、現代社会でどのような形で生かされているかを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
	5 ・ 6	第2編第1章 主題1 法や規範の意義と役割	<ul style="list-style-type: none"> 法やルールを定める時には、どのようなことに配慮する必要があるかを理解する。 身のまわりの偏見や差別・不平等、自由権が保障されていない問題について理解し、その解決策を考える。 安全で豊かに生き、法をよりよいものにするための権利や、それを実現するための法・規範を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
	7 ・ 8	主題2 契約と消費者の権利・責任	<ul style="list-style-type: none"> 契約が対等な当事者間の合意といえるための条件を理解する。 なぜ契約を守ることが大切なのかを理解する。 消費者主権を実現するために、消費者に関する法律が定められていることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
		主題3 司法参加の意義	<ul style="list-style-type: none"> 個人や社会の紛争を法にもとづいて公正に解決するために必要なしくみと、国民が果たすべき責任を理解する。 なぜ裁判所が必要なのか、司法権の独立や裁判所のしくみ、最高裁判所の違憲審査権から理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
		●前期期末考査					
	9	第2編第2章 主題4 政治参加と公正な世論形成	<ul style="list-style-type: none"> 民主政治を推進するために、私たちが果たすべき責任を理解する。 なぜ選挙に行くことが大切なのかを考える。 主権者である国民と国会・内閣の関係を理解する。 地域社会の課題に、私たちの意思を反映させるためにはどうすればよいかを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
	10	主題5 国際社会と国家主権	<ul style="list-style-type: none"> 主権国家が並び立つ国際社会は、どのように成り立っているかを理解する。 領土問題の背景と現状を理解する。 国際社会の平和と安定を維持するための国際連合の取り組みを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
	11	主題6 日本の安全保障と防衛	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法の平和主義の下、私たちが果たすべき責任を理解する。 日本の安全保障体制の変容とその背景にある国際社会の変化を理解する。 軍縮に向けて国際社会や私たちには何が必要かを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
	12	主題7 国際社会の変化と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> 今日の国際社会の特徴について理解する。 人種・民族問題と地域紛争の背景、現状を理解する。 国際社会における日本の役割を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
1 ・ 2	第2編第3章 主題8 雇用と労働問題	<ul style="list-style-type: none"> 経済の基本的なしくみを理解し、経済的意思決定が将来の選択に役立つことを理解する。 労働者を守るための法や権利を理解するとともに、日本の労働環境の現状について理解する。 雇用と労働問題の学習を通じて、自分が将来どのように働くべきであるかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	
	●後期期末考査						
3	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> 自ら課題を設定し、情報を収集・分析して解決までの道筋を探ることを通して、多角的な視点からの課題解決能力を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 レポート 発表 	○	○ ○	○	

* 評価の観点 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に取り組む態度